

令和 6 年度第 3 回防府市図書館協議会

日時：令和 7 年 3 月 7 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

場所：防府市役所 本館共用会議室

■出席者

(委員) 藤村会長、安光副会長、岡田委員、杉山委員、新田委員、
山崎委員、吉武委員、有吉委員、津田委員（計 9 名）

(事務局) 江山教育長、高橋教育部長、松田教育総務課長、
幸田図書館長、御手洗図書館管理室長

(欠席) 宮崎委員

■傍聴者 なし

■議事録

○事務局

定刻になりましたので、ただいまから「令和 6 年度第 3 回防府市図書館協議会」を開催させていただきます。

それでは、防府市図書館協議会規則、第 3 条第 1 項により、これからこの会議につきましては、藤村会長に議事進行をお願い出来ればと思います。

○議長

それでは、今回の会議につきましても、前回と同様に、会議および会議記録については、「公開」ということでよろしいでしょうか。

(意義なし)

異議なしということで、公開で進めてまいりますので、よろしくお願いします。

それでは、これより議事に入ります。「令和 7 年度事業実施計画」について、事務局から御説明お願いします。

○事務局

今年度の第 1 回の協議会では、令和 5 年度図書館事業実施状況の評価をしていただきまして、第 2 回の会議では、令和 6 年度の 9 月末までの図書館事業に対して、いろいろなご意見をいただきました。

これらをふまえて、**資料 1** 令和 7 年度の図書館事業計画（案）を作成しております。

本日は、図書館から令和 7 年度の図書館の事業計画を御説明し、事業内容や進め方について、御質問や御意見をいただきたいと存じます。

それでは、図書館長から説明いたします。

○館長

改めまして、皆様こんにちは。

では、防府市立防府図書館の「令和 7 年度事業計画書」について、説明を申し上げます。

まず、1 豊かな資料と機能を持つ図書館(1)の①、資料収集業務でございます。

令和 7 年度は、図書の購入目標冊数が 7,500 冊となっております。昨年度は、10,000 冊でしたので、減っておりますが、令和 7 年度の電子書籍の購入目標冊数が、1,500 冊と、昨年度の 500 冊より 3 倍に増えることに起因します。

電子図書館は、令和 4 年度 10 月から運用を開始しておりますが、昨年、令和 5 年度に比べ今年度は、貸出冊数が倍増しています。これは、図書館への来館が困難な方々が、電子図書館を多く利用されている証左だといえます。

特に、貸出冊数の内訳を見ますと、児童書と一般書がほぼ同数となっています。通常、図書では児童書の貸出冊数は、一般書の 6 割以下にとどまっていますので、これはタブレットが配布されている小学生の電子書籍の貸出が多くあつたためではないかと推察されます。以上から、来年度は、児童の電子書籍を多めに購入します。

また、今後、さらに利用される小学校や児童を増やして、朝の読書時間などで電子図書館を活用していただけることを見込んでおります。

それでは次に、1-(2) の②情報発信(広報)業務ですが、ご存じのとおり、「ほうふ図書館だより」や「ほうふとしょかんこどもしんぶん」など、図書館オリジナルで定期的に発行しておりますものに加え、防府商工会議所会報「幸せます」におきましても、昨年 5 月から、経済・経営に関する本や社会心理学に関する本などの紹介と、図書館からのお知らせを掲載しております。「きみのお金は誰のため」「なぜ働いていると本が読めなくなるのか」「何回説明しても伝わらないはなぜ起きるのか」など、ビジネスに携わる方にも、読書に親しんでいただけるようなテーマを選び、また、会報「幸せます」の知的印象度をアップするためにも、今年度も引き続き、素敵なお話を選んで掲載します。

また、(2) の③にありますとおり、5 月 31 日には、「令和 6 年度図書館年報」を発行いたします。

続きまして、(3) の①移動図書館車「わっしょい文庫」の運行業務です。4 トントラックを改造したものです常時 3,500 冊の図書を積載して 6 コースを 2 週間に一度の周期で運行しております。

その中で、来年度もステーションの見直しを行います。実は、今年に入りましてから、富海の古民家マルシェと中関の老人施設より、立ち寄りの御要望がございました。その場合、現在のステーションを変更することになります。よって、お申し出のあった場所と現在のステーションの集客数や停車場所、あるいは利便性などを比較検討しまして、ステーションを変更するか、最終的に判断します。

次に、(4) の①レファレンス(調査研究相談)業務の中にパスファインダーの充

実とありますが、パスファインダーとは、あることを調べたい時に、どのように資料を探したらよいのか、手引きのことをいいます。防府図書館におきましては、防府天満宮や笑い講など、郷土のテーマに加えて、防災やSDGsといった、昨今の新しいテーマのパスファインダーも用意しています。

ただ、作成してからずいぶん期間の経つものがあつたり、新たに作成が必要と思われるテーマがあつたりします。来年度は、このパスファインダーを全面的に見直しまして、更新を行います。1につきましては、以上です。

○議長

ただいまの御説明に対して、御質問、御意見ございましたら。

それでは、私から。今日は、来年度の事業計画ですけれど、今年度、1月から2月にかけて、LEDの設備を設置されました。蛍光灯からの切り替え工事がなされましたが、その経過とその間の図書館の状況について、簡単に御説明いただければと思います。

○館長

LEDの工事については、図書館の西側半分が、地域振興株式会社の持ち物、東側半分が、市役所の持ち物になっております。

西側の方は、11月に休館日のみ3日をかけて行わされました。東側の部分が、市役所の入札によりまして、臨時休館を設けまして工事を行いました。

臨時休館は、1月27日から2月20日でございました。業務は日興電気工業にやっていただき、本日、市役所の建築課職員が来館し、最終の検査が終わっておりまして、これで、すべて終わりということになります。

それから、休館中の業務について御説明を申し上げたいと思います。臨時休館中のサービスとしては、移動図書館車、レファレンス、リクエスト受付は、通常と同様にやっておりました。ただ、工事中、中に入れませんでしたので、入口に臨時受付を出して、そこで返却や予約の本を渡したり、新刊書だけを並べて、貸出できるようしたりしました。さらに、図書館の中にある、在架のものは3点まで、御要望があれば承って、翌日以降にお渡しするというサービスをずっと行っておりました。

次に、特別な業務として、何をしたかというのを御紹介したいと思います。

まずは、除籍でございます。除籍というのは、不用な資料、時代によって資料の価値が減った、古いようなものや利用頻度が低下したものをおきました。あるいは、亡失資料といいまして、館内で出されて返ってこない、5年以上たつたものを除籍するというのがあります。そういう作業をしました。この休館中に作業時間がとれたため、本年度は除籍の冊数がかなり増える見込みでございます。

また、他にも、書庫が4階建て、一層から四層とありますが、その中の整理を

行いました。児童書を移動したり、郷土の資料を別の場所に移したりしました。

それから、データの登録、修正や図書の修理を行いました。児童書は特に、破れてきたり割れたりするので、その修理でございます。あと、館内の表示について、剥がれてきているものとか古いものとかを外しました。

その他にも、音訳データをデジタルデータ録音にする作業もしております。

最後に特別な業務としましては、棚の表示です。図書館においてになった時には、ご覧にいただきたいのが表示です。この棚にはどんな本が入っているかという表示が、東側の奥から 0 番で始まり、ユニバーサルデザインのフォントに変えて、わかりやすく棚を整理しました。御来館の際は、ぜひ棚の表示を見ていただきたいなと思います。

以上、普通の貸出業務は、縮小しましたけれども、特別な業務といったことで、除籍であるとか表示であるとか、そういったことをやりました。

○議長

ただいまの説明について、何か御質問ありましたら。よろしいですか。

もう 1 点、カスタマーハラスメント(カスハラ)の関係で、クレーム対応について、今年度もいろいろあったかとお聞きしましたが、来年度については、どのような対応をされるのでしょうか。

○館長

来年度も今年度同様、カスタマーハラスメントだなという判断をした場合には、躊躇なく対応していきたいと思います。最近は、何か事がありますと、すぐ職員が報告に来てくれますので、私の方も表にすぐ出て行って、対応するようにしています。

それからカスタマーハラスメントではないのですが、高齢の方で、はなし相手が欲しいのか、長々と総合受付に座っておられるような方も時々あります。40 分も話しておられるのにお帰りにならず、怒っていらっしゃるわけではないですが、ちょっとしたことを何度も繰り返しお聞きになるような時には、私が出て行って、やんわりとお帰りいただくように対応をしております。来年度もそういうことに肅々と対応していきたいと思います。

○議長

よろしくお願いします。他はよろしいですか。

それでは、次は大項目 2 と 3 の説明ですね。

○館長

それでは、2 豊かな交流の場をつくる図書館ということで、(1)の①、来年度は 6 月 8 日(日)に「第 14 回防府市子ども読書フェスティバル」を、10 月 19 日(日)に「第 35 回防府図書館まつり」を開催します。いずれも、図書館は、実行委員会、ボランティア団体、あるいは高校生ボランティア等と協力して、これら

のイベントを開催します。

また、(2)の①「図書館ボランティア養成講座」は、例年2月に開催していましたが、今年度は、館内LED照明工事が年明けに予定されていましたので、8月と11月に開催しました。

2回目の図書館協議会の時に報告しましたが、特に、8月の講座は、夏休み期間中ということで、高校生2名と中学生1名という若い方の参加がありました。来年度も「図書館ボランティア養成講座」、1回は、夏休み期間の開催を考えています。

次に3生涯学習活動の拠点、集会文化活動に力を入れる図書館です。(1)の①「子ども読書フェスティバル」では、イベントとしてワークショップを開催します。子どもが参加して楽しめるワークショップとして、絵本作家の先生をお招きして行う準備をしております。

また、「月いちキネマ」では、毎月1回、主に高齢者を対象として懐かしの映画上映会を行っています。8月には子ども向けの映画を、12月には、障害者週間に合わせてバリアフリー映画を上映します。バリアフリー映画とは、視覚や聴覚に障害がある方も映画を楽しめるよう工夫された映画です。

大項目2,3は、以上でございます。

○議長

ただいまの説明に対して、御質問、御意見ありますでしょうか。

では、私から。「ボランティア養成講座」、8月に中高生の参加があったため、来年もそれを継続されるということですが、これはいいですね。

それから、「大人のくらし塾」は、いろいろな内容をされておられますか、来年度、新企画がございますか。

○館長

来年度は、担当が変わる予定ですので、現在、内容を検討中でございます。

○議長

3-(1)の②の一番下のところに、新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催とありますが、これは今までありましたか。ブラウジングコーナーのことでしょうか。

○館長

はい、そうです。

来年度も、子どもフェスティバルの時、スペシャルおはなし会を予定しております。ブラウジングのところで、布絵本「結う」さんが、展示をしてくださることになっております。ちなみに、今年度は、市の高齢福祉課とタイアップして、認知症月間のときはブラウジングコーナーでパネルの展示を行いました。

それから、上山満之進の生誕に合わせたパネル展示も1か月開催しました。

○議長

これは、資料費の方と関わってきますけど、全国には、名画の複製画(レプリカ)の貸出をするような図書館もあります。もちろん1点1万円以上するかもしれませんので、何か多額な寄附でもあった時に、例えば100万円とかあった際に検討してみていただければと思います。どれくらいの費用がかかるかとか、ちょっと研究されてみてもいいかなと思います。渡辺峯山の出身地である愛知県の田原市に、素晴らしい図書館があるのですけど、そこに行った際に名画のレプリカの貸出をされていました。何点もレプリカを所蔵していて、1か月貸し出されています。自宅とか喫茶店とかが借用して、1か月間展示されているようで、結構人気があるようです。

県内ではそういうことやっている所はありませんが、多額の寄附があった際には、検討していただければと思います。よろしくお願ひします。

○館長

承知しました。防府図書館には、陳澄波のレプリカがございます。それは常時展示しておりますので、よろしければご覧いただければと思います。

○議長

それから新聞に陳澄波の記事が出ていました。市が、絵画に関連した動画を作ったということでした。ここ8階にありますね。

他はよろしいですか。それでは、大項目4と5をお願いします。

○館長

それでは、4地域の歴史や文化を大切にする図書館、(1)の①防府図書館では、地域(郷土)資料の収集を積極的に進めております。来年度は、今年度と同様、年間郷土資料収集目標冊数を450冊としております。

それから、5種々な教育文化施設とのネットワークを進めるの(2)の②です。図書館は、財団内のアスピラートや三友サルビアホール、ソラールで開催される企画展やイベントにあわせて、関連図書を展示するなど、コラボレーション企画を考えていきます。具体的には、3月20日からアスピラートで、「ひつじのショーン展」が開催されます。図書館におきましても、同時期に企画展示を行うようにしております。

また、(2)の③行政との連携業務について、今年度は9月の認知症月間にあわせて、高齢福祉課と連携しましたけれども、来年度も、ぜひ同様の企画を行っていきたいと考えています。大項目4、5については以上です。

○議長

ただいまの説明に対する、御質問、御意見お願いします。

では、私から質問させていただきます。

私事になりますが、私は、小学校の高学年から高校まで、親の関係で宮崎の方

に住んでおり、小学校は、宮崎県の飫肥小学校でした。今 NHK で「坂の上の雲」の再放送をしていますけど、飫肥は日露戦争の時の外務大臣、小村寿太郎の出身地です。小村寿太郎については、吉村昭の「ポーツマスの旗」で、日露講和会議のことが、詳しく書かれています。その小村寿太郎の伝記紙芝居を、小学校 5 年の時の先生が、学校図書館でやってくださったことを、いまだに覚えているのですが、郷土紙芝居を作つておられるようでの、上山満之進さんについても、その一環として、上山満之進の伝記紙芝居をどなたかが作つていただけるといいなと思っております。実際に作るとなると、なかなか色々大変なことが出てくるかと思いますけど、御一考いただければ。

○館長

どなたか、作つてくださる方がいれば。

○議長

上山満之進さんの話は、副読本とかクリアファイルとか、いろいろと出ているかと思いますけど、やはり伝記紙芝居なんかがあると印象に強く残ると思うのです。ただ、今頃は、いろんな歴史上の人物もアニメになって、ずいぶん容姿も変わった形になるようですので、やはりある程度、似たような人物画が描けるよう人が作成しないと、難しいかとは思いますけど。

それと、美術館との連携強化というのが入っていますが、防府市は美術館が無いので、アスピラートは展示会がありますね。図書館の利用者懇談会でも申しましたが、県立美術館の荏原津さんが、雪舟のことを研究されていますし、山口大学の西洋美術史の藤川先生もおられます。それから、山口県は、狩野芳崖が下関ですので、そういう方についての講座を企画していただけるといいなと思っています。よろしくお願ひします。

いろいろ要望が重なつて申し訳ないですが。

他はよろしいですか。

では、大項目 6、7 についてお願ひします。

○館長

それでは、6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館です。子どもたちの読書活動を進めていくため、各種の事業を積極的に行っていきます。

特に、「第 13 回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共に催します。より多くの児童生徒さんに御参加いただけるように、夏休み直前に「チャレンジ！調べる学習」を開催します。夏休み開始直前の 7 月の日曜日、1 時間の回を 3 回行います。総合百科事典ポプラディア第 3 版を使って、どういう風に調べものをするかを教える会を考えております。

大項目 7 障害者や高齢者に優しい図書館ということで、先ほど申し上げましたけれども、(1) の①、12 月の「月いちキネマ」は、バリアフリー映画を上映し

ます。バリアフリー映画の説明をしますと、聴覚障害・視覚障害のある方に対して、聴覚障害者向けの字幕というのは、映画の音が伝えている情報を文字にして表示して、登場人物の話しているセリフ、どんな調子で話しているか、その時に聞こえている音や音楽も文字にして伝えるというのが聴覚障害者向け字幕。そして、視覚障害者向けの音声ガイドということで、これは、映画の映像が伝えている情報を説明するナレーションが付く。画面に映し出されている情景、それから、場面や登場人物の動きなどを簡単にわかりやすく音声で説明するものです。12月は、障害のある方にも楽しんでいただける映画を上映しようと考えています。

また、(2)の①の防府図書館障害者等用サービス「ひなぎくネット」は、通常の活字による読書に困難を感じている方のためのサービスですが、これを周知し、利用促進を図っていきたいと考えています。

さらに、(3)の①、図書館は障害のある方のためのボランティア活動を支援しています。具体的には、視覚に障害のある方々のために、市広報などを読み上げ、録音し提供するという活動を行っていらっしゃるサークル、「翠の会」さんに、館内録音室や障害者サービス室などを提供します。「翠の会」さんは、文化福祉会館の廃館に伴いまして、その活動拠点を図書館に移されております。

以上、大項目6、7でした。

○議長

ただいまの御説明に対する、御質問等お願いします。

6の関係で、学校図書館を考える会・防府を中心に、「図書館クラブ」が進んでいるとお聞きしていますけど、関係しておられる委員さん、どうですかね。

○委員

4月から、中学校の部活動の地域移行に伴って、文化部というものが、失われてしまうのではないか、もしかしたら部活動を諦めてしまうような子たちが増えてしまわないかと思ったのと、図書館という場所をもっと広く中学生に知ってほしいということもありますて、「図書館クラブ」というのを立ち上げようということになりました。

防府図書館の御理解によって、場所を防府図書館に置かせていただいて、毎週木曜日の夕方16：30～18：30の予定で活動しようと思っています。

市の方の認定を受けられるように書類を提出しております。ただいまの状況としては、小学校6年生と中学校1年生の方に、部活動りますよというお知らせとチラシを配布して、4月に2回ほど体験入部というのをしようと思って、そちらの方をお伝えしております。ただいまの状況、2件ほどお問い合わせがきておりますので、これから少しでも興味を持った人に来てもらって、図書館で出来ること、読書はもちろんんですけど、調べ学習とか、創作活動とかが出来るよう

に、子どもたちがやりたいことを支援していけるような、そんな部になればいいなと思って、始めようとしているところです。また追って、御報告出来ればと思います。

○議長

図書館が好きになって、将来の図書館を担うような人が出てくるといいですね。7の関係で、他に御意見がありますか。

○委員

7だけということではなくて、防府図書館は、イベントだけじゃなくて、かなりいろんなことを行っておられます。そして、その効果をまた上手く、次の活動に繋げられているというふうに思っております。

私が気になるのは、いろいろな行事や展示をたくさんされて、素晴らしいのですが、図書館の職員の方たちに無理がないのかなというのを、すごく心配しております。こちらから何かを言うと、必ず検討して下さるのは素晴らしいことです。検討してやってくださったりするので、それも素晴らしいですが、図書館職員の方は、無理をさせていませんでしょうかということです。

館長さんも何かがあったら、すぐ対応されておられます。それはほんとに素晴らしいのですが、図書館の職員の方たちの表面的にはストレスが出ていないと思いますので、その活動が素晴らしいがゆえに、無理しておられるところはありませんでしょうか。まずは、館長さんがお元気そうなので何よりも。いろんな方に向き合っていろいろ対応されるところで、かなりメンタルの強い方だなと思っていますが、ちょっと気になっています。

○館長

図書館は、職員が24名、男性が3名で他は女性です。驚くことに皆とても真面目で、とても親切です。図書館には、いろんなご利用者の方が来られますけれども、それこそとも丁寧に対応しております。職員においては、本当にストレスがあつたら申し出てほしいと思っています。ただ、来年度、各職務の担当を変更する予定ですので、それに対しても職員は、新しいことにチャレンジしようという意気込みを見せててくれています。皆さん、図書館にお越しになられたらわかると思うのですが、感じ良いと思われませんか。入館されたらみんな、「こんにちは。」とお声掛けをする。いろんな方がお見えになるのですけど、分け隔てなく、温かくお迎えしてというのが、図書館のモットー、当館のいいところじゃないかなと思っています。

○委員

すごく素晴らしい図書館だということがわかっています。ちょっと気になったのが、男性と女性を比べるわけではないですが、何かあったときに、館長さんが出ていかれ、暴力的な何かとなった際に大丈夫かなというところです。男女を

言っている訳ではなく、長々と居座る利用者に対応するのはできても、いざ暴力的な何か、例えば急に刃物を持ってとなつた時の対応だとか、日々訓練されではいると思いますが、その辺が最も気になるところです。図書館というと女性が多い職場なので、やはり何かがあつてはという心配です。「さすまた」があるのでしょうか。

○館長

「さすまた」とは言わなくて、「こないで」というのがあります。私の横に2台用意してあります。

○委員

昔は、前の方に出ていたけど、今は隠してあるのですね。

○館長

大体、図書館の利用者は、そういう暴力的と言うよりは、おとなしくて高齢で、新聞でも読もうかという方が多くいらっしゃいます。男性職員は、例えば、高い所とか重いものとか、そういう作業は、よく手伝ってくれます。

もし、万が一そういうことが起こったとしても、警察に電話するというのは浸透してきていますので、大丈夫かなと思っています。私も、あまり強いわけではありませんが、40分もおられた後、お引き取り願う際には、段階的に対応しております。すぐお帰りくださいというのではなく、私が出て行って、再度話を聞き、もうこれ以上答えられませんので、申し訳ないですが、お引取りください、ということはあります。

○議長

職員の方が過労にならないように、よろしくお願ひします。

○館長

今日の、協議会の皆様が、職員のことを心配してくださっていると伝えておきます。

○議長

それから、子ども読書の関係で、今日のNHKの「あさイチ」を見たら、今、子どもたちに大人気の「大ピンチずかん」1・2が取り上げられていて、3巻が待望されていましたけど、来月刊行予定のようです。プロの絵本作家って、本当にすごいですね。鈴木のりたけさん。子どもたちが楽しめそうです。他はよろしいですか。

前からいろいろ図書館の案内のことと言われている委員さん、どうですか。

○委員

私も、AINシュタインの記事(会長が挨拶で、新聞コラムに掲載されたAINシュタイン語録「あなたが絶対に知るべき唯一のものとは、図書館の場所」を紹介したもの)を読ませてもらいました。引っ越しとか転居したときに、一番先

に探すのが図書館で、私も図書館が好きです。だから、AINシュタインもそんなことを言っているのだなと、ちょっと嬉しくなりました。

それで、今回、ルルサス防府が修繕をされていて、すごく幕が張ってあるので、この際に図書館の表示が出来たらよかったですのにと思いながら、その術もわからないのですが、あそこに図書館があると指をさして言えるような表示が欲しいなと思います。

ついでにもう一つ。防府市からは、いろんな文化人が出ていますね。「防府市の七賢人」って、ルルサス防府に図書館が入った時に、アスピラートで展覧会があったと思いますが、写真入りで防府市出身の文化人が取り上げられていました。防府市にも、伊集院静さんとか高樹のぶ子さんとかがおられて、私は友の会に入っているので、婦人之友社の社長の羽仁吉一に関係がありますが、防府市の文化人の小さな写真でもあるコーナーがあれば、他の利用者もこの人は防府市の出身だったとわかるかなと思います。郷土のあたりで、展示コーナーができるいいなと思いました。

個人的なのですが、今年の9月に婦人之友社の読者の会、友の会の中国部会をやる予定です。中国5県から100人ぐらいが集まる予定です。周りから防府は羽仁吉一先生の出身地よね、よく言われるんですけど、今回、森まゆみさんが「じょっぱりの人」という本を出されて、防府市のこと書かれていて、実際、羽仁吉一の生地を回れたりする。そういうことも、皆さんに知ってほしいので、羽仁吉一だけじゃなくて、いろんな文化人の出身者についての説明が欲しいなと思いました。

○館長

郷土の資料と出身の作家先生は、棚がございます。入って行ってすぐ、一番奥から、0から9が来てそこにあります。

○委員

ありますよね。そこに白黒でもいいから、小さな写真があるといいなと思います。

○館長

那須正幹先生は、児童書なので、子どもの方に中山聖子先生などは、防府じゃないのですけど、山口県、郷土の作家先生の棚の中に作っていますので、ご覧になつていただければと思います。

実際に那須先生の作品は、今回電子図書館にアップしておりますので、機会があつたらみていただければと思います。電子図書館に元々、テープで高樹のぶ子さん、山根基世さんの音訳のテープがあったのですが、テープが劣化しますので、デジタルデータに変換して電子図書館にあげています。この度、那須先生のものを音訳資料に登録しましたので、紙だけではなく、電子図書館でも郷土の資料を

なるべく丁寧にアップしていこうとしております。よかつたら電子図書館も覗いてみていただければと思います。

○委員

新着図書が、とてもわかりやすく置いてあるのですが、新刊の紙芝居の扱いを少し考えていただければと思っています。今回も2月から3月に6点ほど入っていたのですけど、元々紙芝居コーナーは、探すのに時間がかかるのですけど、年長向けの紙芝居「はじめてのせかいには」シリーズが、ばらばらのところに置いてあって、それぞれの作家さんのところに、「あ」なら、あ、「い」なら、い、のところに、ひとつは季節のところに、6点がばらばらに入っているので、なかなか探しません。最終的に私が、5つまで探したのですけど、もうひとつがどうしてもわからなくて困りました。紙芝居コーナーは、探しにくいところではあるので、特に新着のものだけでも、コーナーを作ってもらって、そこを見ればいいくらいにしていただけだと助かります。よろしくお願いします。

○館長

他の本は、新着コーナーがあるのですけど、紙芝居は無いですよね。

○委員

今回、LEDのことよりも、新着で紙芝居が出ていなかったので、紙芝居の扱いをしていただけだと、探しやすいのでお願いします。

○議長

他の方、何か御要望等、ございましたら。

○委員

資料の1番のところで、電子図書が1,500冊と書いてありますて、昨年度に比べてすごく数が多いなと思ったら、先ほどの館長の説明で、購入図書を控えて、電子図書の購入を増加するということで、大変うれしく思っております。なぜなら、小学生が、学校から金曜日に本を借りて帰り、それを月曜日に荷物の中に入れて持つて行くのですが、大変重たいのです。電子図書を金曜日の日に、学校でPRしていただいて学校に置いて帰るところもあると思いますが、みんながタブレットを持って帰れば、電子図書で読むことができるため、重たい本を持って行く必要が無くなると思います。私は、見回り隊をしているので、1年生の子どもの本を途中まで持つて行ってあげるのですが、すごく重たいと思っております。

電子図書の普及を小学校にPRしていただいて、子どもたちが手軽に読めるということについて、まだまだ知りませんので、普及していってもらえたたらと思います。そうすれば、1,500冊が来年度は、2,000冊か2,500冊になるのではないかなという要望です。たくさん子ども向け電子図書を入れて、子どもたちがそれを家庭で見ていただくといいと思います。

いろいろなアンケートを見ますと、親は子どもたちが、家庭で本を読まないと

聞きます。そのパーセントが、半分以下ぐらいですので、こういう電子図書を使って、家庭での読書のパーセントを上げるという目的ではないのですけれども、手軽に読んで欲しいなと思っております。よろしくお願ひいたします。

○議長

紙媒体の図書を読んでもらいたいとは思いますけど、タブレットで読んでいただくと、きっかけにはなるでしょうね。

○委員

私は、自分が関わっていることしか、お話が出来ないのですが、今年、「翠の会」は引っ越しして、部屋の確保が大変でした。私も、年齢が年齢なので、辞めようかと思いましたが、なにしろ「翠の会」の最後を見届けたいと思って踏みとどまりました。今は、図書館と2階の支援センターと1階の文化センターをお借りして、3つを掛け持ちして、録音しています。どこかのお屋で、ひとつにまとめて「翠の会」が安心して活動出来るようになればいいなと思っております。図書館にしていただくと、とてもありがとうございます。窓口は、図書館が一番いいと思います。よろしくお願ひします。

○議長

他に、何かございますか。

○委員

先ほど会長が言われたように、電子図書もだけど、子どもたちには本も読んで欲しいなと思っております。ヨーロッパの方では、教科書が電子版から元に戻っていると、ちらっとニュースで聞いたことがあります。やはり本の持つ、心を含めた人間形成というか、そういった部分もあるのではないかと思いました。だからと言って、電子図書云々という訳じゃございません。

○委員

今、他の委員さんのお話を聞いて、やはり、私の小学校でも朝の5分間読書を、子どもたちは、やっているのですが、学校評価アンケートで保護者の方がお答えになったものによると、子どもたちが読書をしていないとか、本を読んでいないという、返答が返ってきております。子供たちが、様々な形で、本を読んでいるという姿を家庭でも持つことが出来るという工夫をしていきたいと思いました。そのために、とてもよいアイデアをいただきましたので、小学校の学校図書館部に提案しておきたいと思います。ありがとうございます。

○議長

それでは、何か全体として、これだけは言っておきたいということがございましたらどうぞ。よろしいですか。

それでは、最後にその他事務局からございますか。

○事務局

今年度の協議会は、今回が最後になります。令和7年度第1回目の次の会議は、令和6年度の図書館事業の評価をしていただく予定になっております。

毎年6月頃に図書館が自己評価したものを委員の皆様にお送りいたします。その評価シートに御意見をいただきまして、それらを元に第1回会議を開催して、御意見をいただきたい、御協議をお願いしたいと考えております。

開催時期は、大体7月頃を予定したいと思っております。

○議長

委員の皆様、よろしくお願ひします。

本日は、令和6年度の第3回目の会議でしたが、来年度の図書館事業計画について説明を受け、御意見、御要望等をいただきました。

今後も、委員の皆様の御意見をいただきながら、生涯学習の中核施設、まちの情報拠点として、図書館事業が一層充実したものになるよう、協議を進めていきたいと思っております。

これをもちまして、本日の議題等については、すべて終了しました。